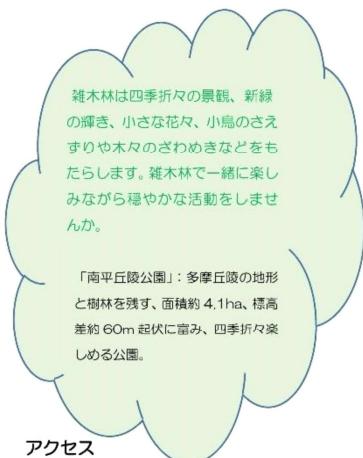


団体名	南丘雑木林を愛する会
代表者名	老沼 義正
連絡方法	事務局: 笹木延吉 TEL: 090-6029-1811 E-mail: eisvogel311@jcom.zaq.ne.jp
団体案内 (目的・趣旨)	市民の力で雑木林を守っていくことが目的で 2005 年から市民団体と日野市の共催で「雑木林ボランティア講座」を開催してきましたが、第 3 回の講座卒業生の有志で南平丘陵公園を拠点とした「南丘雑木林を愛する会」を立ちあげる事が出来ました。明るい健全な雑木林を維持・保全し、次の世代に引き継ぐ事が会の目的です。ボランティア講座の支援は基より、他の団体への指導応援などができる緩やかな成熟した団体を目指しています。
設立年	2007 年
主な活動内容	「明るく健全な雑木林を次世代に」 人間の暮らしに関わりの薄くなつて放置された雑木林は、僅かに 50 年前まで私たちの暮らしに、かけがえのない場所でした。雑木林は、薪や炭などの燃料になり、落ち葉は堆肥として利用され、人々はこの雑木林を維持するために約 15 年毎の萌芽更新、下草刈り、落ち葉かきなどに努めてきました。雑木林は手入れを怠ると数年で藪になり、生物多様性がなくなり、萌芽更新サイクルなどを行えば、健全な雑木林を残す事ができ、ボランティアは小さい力ですが、心通った仲間達との活動が明日に繋がります。 ①萌芽更新作業(刈払機、チェーンソーを使った活動と安全管理) ②粗朶柵工、落ち葉かき、下草刈り、腐葉土づくり ③池の管理(かい掘り、土留め工など) ④貴重植物の保護 ⑤環境学習や応援ボランティア
主なフィールド	南平丘陵公園
活動日	第 2 日曜日、第 4 木曜日の月 2 回午前 9 時 30 分～午後 3 時まで
会員数	25 名
募集	常時
その他	会費 2,000 円／年(保険代込み)
団体の課題 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	日野市とのパートナーシップ協定締結 2024 年 3 月 19 日南丘雑木林を愛する会は日野市と緑地管理・運営及び供用に関するパートナーシップ協定を結びました。南平丘陵公園を市内で残された希少生物の生育環境が維持できる樹林地として位置づけ、この自然環境を次の世代に引き継ぐ為、明るい健全な雑木林や希少生物の生育環境を維持・保全し、生物多様性に配慮した活動を進めていくものとする。



アクセス



“明るく健全な雑木林を次世代に”

人間の暮らしにかかわりの薄くなつて放置されたままになっている雑木林は、わずか50年前まで、私たちの暮らしにかけがえのない大切な場所でした。

雑木林は薪や炭等の燃料になり、落ち葉は堆肥として利用され、人々はこの雑木林を維持するために約15年毎の萌芽更新や下草刈り、落ち葉かき等に長い間努めてきました。

雑木林は手入れを怠ると数年で藪になります。萌芽更新サイクルなどを行えば健全な形で雑木林を残すことができ、ボランティアは小さな力ですが、心通った仲間たちとの活動が明日に繋がります。

なんきゅう 南丘雑木林を愛する会



”活動概要”

日野市雑木林ボランティア講座が2005年スタート、2007年に講座修了生が集まり、立ち上げた会です。

- ・活動場所：日野市南平丘陵公園
- ・活動内容：萌芽更新、除間伐、粗朶柵、下草刈りや野草保護など
- ・活動日：第2日曜日、第4木曜日
- ・活動時間：9時30分～15時
- ・年会費：¥2,000-（ボランティア保険込み）
- ・連絡先：代表 老沼
e-mail : ysnuma@jcom.zaq.ne.jp
事務局： 笹木 090-6029-1811

私たちの合言葉、「ボランティアは人のためではなく自分の目的意識のために楽しく活動するもの」

「活動内容」

☆萌芽更新：雑木林の木々は伐採すると切株から萌芽（ひこばえの芽生え）があり、十数年周期で伐採を行えば健全な雑木林を維持することができます。

「萌芽更新サイクル」



野草園



ひょうたん池の整備

ひょうたん池



広場

管理棟

駐車場

炭焼小屋

南平高校

総合の様子

シイタケ栽培・四ツ目垣作り



ヤマルリソウ

キバナアキギリ



☆広場：身近な野草を保護
☆ひょうたん池：水溜りと水路を整備、
水生生物の住処を目指す
☆シイタケ栽培・四ツ目垣作り

